

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き（平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課）」の自己評価シートをもとに作成

第8期介護保険事業計画に記載の内容				R3年度（年度末実績）		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標（事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
介護給付の適正化	<p>○介護給付適正化事業主要5事業に取り組み、保険給付費の適正化を図ってきた。</p> <p>○次の観点から介護給付の適正化の更なる推進が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険給付が要介護状態の軽減または悪化の防止に資するように行われているか ・介護サービスが総合的かつ効率的に提供されるよう配慮されているか 	要介護認定の適正化	認定調査員研修の実施 認定調査状況チェック （点検数/調査数） （R3）（R4）（R5） 100% 100% 100%	認定調査員研修 R4.1.28開催 39事業所参加 認定調査状況チェック 100%	◎	認定調査員研修はコロナウイルス感染症予防のため、年2回予定のところ、1回の開催となった。
		ケアマネジメント等の適正化	介護支援専門員研修 ケアプラン点検 （点検事業所数/事業所数） （R3）（R4）（R5） 100% 100% 100%	ケアプラン点検 100% 点検未経験者のプラン点検を実施。実地指導対象事業所に対しては、事業所の介護支援専門員1につき1プランの点検を実施	◎	事業所向けの全体研修（集団指導）は実施できたが、介護支援専門員を対象とした研修は未実施。ケアプラン点検で出た課題を周知する研修の実施を検討する。
		住宅改修等の点検	住宅改修・福祉用具の点検 （点検数/改修（購入）数） （R3）（R4）（R5） 100% 100% 100%	住宅改修・福祉用具の点検 100% 作業療法士の資格を持つ職員が確認	◎	利用者のニーズに対して適切な改修等が行われているかの確認を実施した。今後、改修前の相談事業を強化を図る
		医療情報との突合・縦覧点検	医療情報との突合 （確認数/出力件数） （R3）（R4）（R5） 100% 100% 100% 縦覧点検 （点検数/帳票数） （R3）（R4）（R5） 100% 100% 100%	医療情報との突合 100% 不適正給付 2件 返戻 縦覧点検 100%	◎	国保連合会の出力帳票を確認し、疑義がある場合は事業所に連絡・確認した。継続して点検を行う。
		介護給付費通知	介護給付費通知 （対象月数/12ヶ月） （R3）（R4）（R5） 100% 100% 100%	介護給付費通知 100%	◎	今後も適切なサービス利用について意識啓発を図る。

第8期介護保険事業計画に記載の内容				R3年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
自立支援、介護予防、重度化防止	<p>○一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者が増加し、複雑で深刻な問題を抱える高齢者が増加している</p> <p>○地域の実態を把握し、地域の関係機関や社会資源と連携した地域包括ケアシステムの推進が必要</p>	介護予防の推進	通いの場での、フレイル予防の普及及び生活習慣病の見直しや改善	住民主体の通いの場(つどい) 健康講話の実施 197回 運動講座の実施 191回	◎	コロナ禍で活動が中止する期間もあり、フレイル状態が進んだ高齢者が増加し、通いの場の重要性を再認識した。今後も介護予防事業の継続的な推進を図る。
		地域ケア会議の充実	<p>自立支援型地域ケア個別会議の開催</p> <p>(R3)(R4)(R5)</p> <p>開催回数 6 6 6</p> <p>ケース件数 12 12 12</p>	自立支援型地域ケア個別会議を実施 開催回数 6回 ケース件数 12件	◎	居宅介護支援事業所の参加が減少したため、介護支援専門員の質の向上に繋がらなかった。対象者の範囲を要介護2まで拡げ、事例を提出する事業所を増やし、質の向上を図る。